

令和4年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 風

1. 事業実施の成果

昨年度も5月～9月に第7波、11月～2月上旬には第8波と大きなコロナウィルス感染の波がありました。夏の第7波の時はだいちではクラスターが発生し、冬の第8波ではヘルパー事業職員の家庭内感染が続くなどがあり皆様にご迷惑とご心配をおかけしました。2月になって風の常勤職員は県主催の抗体検査を受けることが出来、体調を確認しながら支援をすることができました。とはいえ、コロナが収束している期間もあったので、通年でみるとヘルパーの利用希望は微増しています。

「だいち」の利用児童生徒は昨年1名が卒業された以外は変わりなく、今年度も同様に利用されています。クラスターはありました、それ以外は楽しく活動され、コロナが収束している時期には外出活動も実施しました。今年度も常時ホームページに毎月活動の様子、コロナの正しい情報等を掲載するなど情報開示に努めました。また障害特性・障害者の権利擁護・虐待・身体拘束などの研修も実施し、職員の支援の質の向上に努めました。

○ヘルパー事業

<居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援>

ヘルパー事業ではご本人の好きな場所に外出することで余暇の充実とストレスの発散に繋げるとともに、保護者の就労や介護負担軽減に役立っています。

利用をされる方のほとんどが成人されており、平日は15:00以降、休日は1日通してのご利用を希望されることが多くなっています。土日は余暇利用だけではなく保護者の就労によるご利用希望も増えてきておりなるべく多くの方の支援ができるようなコーディネート心を心がけています。

新規利用の問い合わせもありましたが、ヘルパー不足や送迎の時間が重なっていてご利用が難しいなどの理由で契約には至っていません。

依然として新型コロナウイルスの影響で必要があるけれど利用を控えている方も多くいらっしゃいます。ただ年度の後半からはコロナウィルスの感染数が減少傾向だったことが影響しているのか久しぶりにご予約いただく方もおり、休日の利用者数は微増しています。

近隣への外出だけでなく、東京・埼玉・神奈川等へ感染予防に注意しながら外出支援を行いました。

主な行き先としては、近隣の公共施設（科学館や図書館等）のほか、モールやショッピングセンター、空港、遊園地等、鋸山ロープウェイ、水上バス、大宮鉄道博物館、葛西臨海公園、鉄道の旅（路面電車）、スカイダック（水陸両用バス）、江ノ電、横浜ランドマークタワー、スモールワールド東京、ポーリング&きぼーる、東京タワー、お台場などご本人のご希望と特性にあう外出支援を行いました。

利用比率は、前年度比 3%増

<タイムケアサービス>

ほとんどがヘルパーの対象とならない長時間の車利用時間でした。

利用比率は、前年度比減 51%増

<送迎サービス（福祉有償運送）>

ヘルパーを利用される方で送迎を希望される方に風の車両を使っての送迎サービスを実施しました。安全運転と利用者さんの安全確保に努めながら、送迎を実施し、事故なく1年を過ごすことができました。

日本財団から購入した車が不調のため令和5年3月に廃車とし、新たにフリードを購入致しました。

ご自宅以外での主な送迎先は印旛特別支援学校バス停、印旛郡通所施設（バス停も含む）、千葉市内通所施設等及び市内外の公共施設等です。

利用率は、前年比 8.5%増

○放課後等デイサービス

「だいち」

今年度の利用者数は、8名です。3月に1名卒業されています。

（外出活動）

昨年度は1年間外出を控えてきましたが、今年度は外出行事を検討し、新型コロナウイルス感染リスクの低い場所を厳選し外出しました。

主な行先は、四街道市内の大きな公園や千葉市動物公園、ポートタワー、草笛の丘等の広々した屋外施設です。みんなのびのびと楽しく遊ぶことが出来てよかったです。

（室内活動）

だいち室内では、音楽に合わせて身体を動かす、ダンベルスケート・パラシュート・プロジェクターダンスや協調性やゲーム性を意識できる、ボッチャ・ストラックアウト等を行い、室内でも発散できるように工夫を重ねました。

また、指先のトレーニングや集中力を高められる、キャップ落とし・ビーズ通し・シール貼り等も行いました。

（調理・おやつづくり）

子どもたちの好きなおやつ作りも沢山作りました。（お好み焼き、焼きそばパン、クッキー、いちごあめ、フルーチェ、ポテト、わたあめ、ポップコーンなど）

（季節行事）

室内でも季節を感じられるように、4月から3月までの行事をだいち内で装飾を行いました。

装飾された中で、七夕まつり・ハロウィン・クリスマスを楽しみました。ハロウィンではわろうべの里までパレードを行いました。施設内にいた地域の子供たちも楽しんでくれていました。

また、お誕生会企画も実施しました。

今年は、利用児童の通う全ての学校でコロナ感染者や濃厚接触が何人も出ました。だいちでも夏休みに児童がコロナに感染し職員、児童と次々と感染拡大したため、だいちを2週間閉鎖しました。その後もポツポツと感染者が出ましたが拡大することなく平穏に戻りました。3月にマスク解禁になりましたが、だいちでは引き続き感染予防の為にマスク着用とアルコール消毒を実施していきます。

利用率は前年度比 3.6%減

○YPCレククラブ（制度外）

コロナ感染が収まっていた時期をみはからって3年ぶりに再開しました。

YPC レククラブは千葉県発達障害の親の会（コスモ）の高校生以上のグループ（YPC）の会員と協働して行うグループ型外出支援です。消毒やマスク着用の徹底をし新型コロナウイルス感染対策を行いながら、海ほたる・映像ミュージアム・ところざわサクラタウンと計3回の活動を実施致しました。久しぶりにメンバーみなで集まり活動できたので、それぞれで会話をしたり近況を報告しあったりと楽しむ姿がみられました。延16名が利用。

○その他

- ・厚生労働省のWAMNETの「障害福祉サービス等事業所情報公表システム」を改訂し公開しました
- ・風の広報活動として「風のたより」を毎月発行しました。
- ・ホームページにだいちのガイドライン（保護者向けアンケート及事業自主点検）を公開しました。
- ・ホームページに風・だいちの活動のようすと新型コロナウイルス情報を随時更新し、年間延べ2100名の方が閲覧されました。
- ・風・だいちの職員に向けて、権利擁護・虐待防止・身体拘束・障害理解等の研修を実施しました。詳細は研修報告一覧を参照ください。
- ・昨年の幼稚園バス園児置き去り事件を受けて、「こどもの安全・安心対策支援事業」が開始され、放課後等デイサービスの3列以上の車両に安全装置を設置することが義務化されました。これを受けて「だいち」でも設置が決定しています。但し、急遽決まった事業で、一斉に注文があり全国的に在庫不足になっているため、届き次第設置をする予定です（令和5年5月初旬予定）

2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サービス	・居宅介護 (身体介護・家事援助・通院介助)	随時	主に、四街道市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延235名	1,873
	・同行援護	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延150名	3,187
	・行動援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延859名	22,567
	・放課後等 デイサービス	月～土 (水を除く)	主に、四街道市、千葉市	利用者数に応じて2名～5名	デイサービスを希望する高校生以下の児童生徒 延1271名	13,513

地域生活支援事業	・移動支援事業	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 391名	3,102
タイムケアサービス	時間単位で利用者の希望に添った支援をおこなう。必要に応じて、一時預かりをする	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名にて支援	主に、一時預かりを必要とする身体障害児者、知的障害児者等延 29.5時間	54
YPC 向けグループ外出支援	成人の軽度発達障害者の外出型グループ活動のサポート	不定期	千葉県内コスモ会員(LD 発達障害親の会)	1名	YPC に所属する高校生以上の方 延 16名	0
福祉有償運送(送迎サービス)	目的地までの送迎を行う	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	必要に応じて派遣	主に、送迎を希望する身体・知的障害児者等 延べ 598名	674